

各 位

2022年5月18日  
株式会社天夢人

都市近郊の廃線跡をクローズアップ！  
特別付録「日本列島廃線地図 2022」小冊子付きの  
『旅と鉄道』2022年7月号「廃線さんぽ 2022」を発売

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝峰富雄)は、2022年5月20日に、『旅と鉄道』2022年7月号「廃線さんぽ 2022」を刊行いたします。



『旅と鉄道』の人気企画、廃線探訪を大特集。特に大都市近郊に今も残り、より気軽に訪ねることができる廃線跡をクローズアップし、そこに残された鉄道遺構を探しながら、さんぽを楽しめる廃線の世界へと案内します。横浜の汽車道、奥多摩の水根貨物線を見られる「奥多摩むかし道」、八王子の京王御陵線跡、岐阜に残る名鉄軌道線の廃線跡などを辿る旅へと案内しています。特別付録として「日本列島廃線地図 2022」小冊子が付いています。

都市近郊にある、気軽に訪ねることができる廃線へと案内しています



### 東京の廃線③ 京王御陵線跡

第二次大戦後、戦後の都市再建事業として休止された京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

文：三浦 浩一 著

■京王御陵線跡  
 区別：京王線  
 区間：京王御陵線跡  
 区間：京王御陵線跡

1. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

2. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

3. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

4. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

5. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

6. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

7. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

8. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

9. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

10. 京王御陵線跡の歴史  
 京王御陵線跡は、かつての京王御陵線跡の歴史をたどる。多摩川沿いの風景と、かつての線路の痕跡を辿る。

横浜・桜木町駅から赤レンガ倉庫へと続く自動車道と山下公園へと続く山下臨港線プロムナード、奥多摩駅からハイキング感覚で訪ねることができる「奥多摩むかし道」から望むことができる水根貨物線跡をはじめ、十条から王子へと走っていた陸軍造兵廠を結んでいた電車跡、京王御陵線跡、北王子貨物線跡など、首都圏近郊に残る廃線の撮りおろし取材を行っています。廃線に沿って見つかることのできた遺構の数々を、豊富な写真とともに取り上げています。

美濃町線跡、谷汲線跡、揖斐線跡、八百津線跡、岐阜県内の名鉄の廃線を訪ねています



丸窓のモ 510 形電車や、“馬面電車”と呼ばれたモ 600 形電車など、ユニークな電車が 1990 年代～2000 年代まで走っていた、岐阜県内に残る名鉄(名古屋鉄道)の廃線跡を、現役当時の懐かしい写真を持って訪ねてきました。保存車両や保存駅舎などを探しつつ、地域の人々に愛され、惜しまれつつ廃止となった、個性的だった路線を辿ります。













路線の地下化で廃線となった、都心の廃線の“今”を歩きました



路線を地下化したことによって廃線となった小田急小田原線東北沢～世田谷代田間、東急東横線渋谷～代官山間の廃線跡が商業施設やホテルに生まれ変わっている“今”の様子を、廃線跡を辿って歩いています。

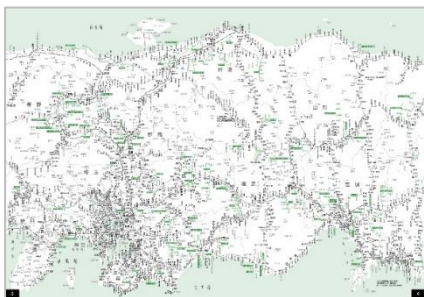
## 全国に残る、一度は訪ねてみたい廃線を一举 38 スポット紹介！

「廃線さんぽ」全国、駅から行ける廃線スポット

 <p><b>岩手軽便鉄道</b> 宮城野原駅から軽便鉄道線が伸び、山形県宮内郡川崎町まで通じていた。1972年に廃線された。現在は川崎町駅跡に「川崎町駅跡」の石碑が立っている。また、川崎町駅跡には「川崎町駅跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>小坂鉄道</b> 大正時代に建設された小坂鉄道の跡地。現在は小坂町駅跡に「小坂鉄道」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>東北本線旧線</b> かつて存在した東北本線の旧線跡地。現在は東北本線跡に「東北本線跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>福内桂橋南線</b> 福内桂橋南線の跡地。現在は福内桂橋南線跡に「福内桂橋南線跡」の石碑が立っている。</p>
 <p><b>くろはら田区鉄道</b> 高尾山線、今川線跡地。現在はくろはら田区鉄道跡に「くろはら田区鉄道跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>花巻電鉄</b> 花巻電鉄の跡地。現在は花巻電鉄跡に「花巻電鉄跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>吾妻本線</b> 吾妻本線の跡地。現在は吾妻本線跡に「吾妻本線跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>三井芦別鉄道</b> 三井芦別鉄道の跡地。現在は三井芦別鉄道跡に「三井芦別鉄道跡」の石碑が立っている。</p>
 <p><b>山形交通高森線</b> 山形交通高森線の跡地。現在は山形交通高森線跡に「山形交通高森線跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>冠城本線</b> 冠城本線の跡地。現在は冠城本線跡に「冠城本線跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>青森線</b> 青森線の跡地。現在は青森線跡に「青森線跡」の石碑が立っている。</p>	 <p><b>国鉄美幸線</b> 国鉄美幸線の跡地。現在は国鉄美幸線跡に「国鉄美幸線跡」の石碑が立っている。</p>

鉄道旅のプロに教えてもらった、全国に残る、痕跡や遺構探しが楽しい魅力的な廃線跡を一举 38 スポット紹介しています。

特別付録「日本列島廃線地図 2022」小冊子付きです



どこに廃線があるのかがひと目でわかる全 12 ページの小冊子「日本列島廃線地図 2022」が付録として付いてきます。

### 【目次】

#### <特集 廃線さんぽ 2022>

- 廃線さんぽのススメ
- 汽車道から山下臨港線プロムナードへ横浜廃線さんぽ

- 奥多摩駅から水根貨物線跡を探し歩く奥多摩廃線さんぽ
- 東京の廃線
  - 1.東京陸軍造兵廠電気鉄道跡
  - 2.JR 貨物北王子線跡
  - 3.京王御陵線跡
  - 4.玉南電気鉄道跡
- 生まれ変わった東京の廃線
  - ・小田急小田原線東北沢～世田谷代田
  - ・東急東横線渋谷～代官山
- 首都圏の歩きたくなる廃線スポット
  
- 名鉄の廃線探訪 岐阜編
  - ・美濃町線
  - ・谷汲線
  - ・揖斐線
  - ・八百津線
  
- 全国、駅から行ける廃線スポット
- えちごトキめき鉄道にサイクルトレイン登場！ 久比岐自転車道廃線トンネル探訪が便利に！

### <連載記事>

- 鉄道愛を語る 第十八回 SAORI
  
- Newcomer Review
  - 1.伊予灘ものがたり(2代目)
  - 2.近畿日本鉄道 19200系「あをによし」
  - 3.横浜市交通局 4000形
  
- 久住昌之の終着駅から旅さんぽ 第16回 浜寺駅前駅(阪堺電気軌道)
- 空から見た秘境駅 第8回 JR 只見線・早戸駅
- NEWS 0 番線
- 車内絵日記「長～い地下鉄・ブルーライン」
- ネコと鉄道の風景 ねこと鉄道 近江鉄道
- 世界の鉄道 途中下車の旅 ドイツ連邦共和国 トラムに乗ってドイツ街歩き
- 草軽電鉄物語 第九回 旧北軽井沢駅～ 旧婦恋駅「緩慢な時代」
- 鉄道マンたちの青春劇場 滝口忠雄
- 私の好きな「事業用車両」ランキング
- ひと目でわかる！ JR 観光列車運行カレンダー
- 私鉄・三セク 観光列車運行カレンダー
- 鉄道旅をもっと楽しく 情報トレイン

**【書誌情報】**

書名:『旅と鉄道』2022年7月号「廃線さんぽ 2022」

仕様:A4 変型判・128 ページ(特別付録 「日本列島廃線地図 2022」小冊子付き)

特別定価:1320 円(税込)

発売日:2022年5月20日

全国書店、オンライン書店の Amazon など で 発売中。

<https://amzn.to/3lhbVT4>

**【株式会社天夢人】** <https://temjin-g.co.jp/>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月21日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

**【インプレスグループ】** <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社天夢人 担当:真柄

Tel: 03-6837-4680 / E-mail:tabitetsu@temjin-g.co.jp

URL:<https://temjin-g.co.jp>